

# 1. 人 口

## C0101-1 人口総数及び増加数

本町の平成27年の総人口は11,826人で、平成22年国勢調査の総人口12,743人から917人減少している。

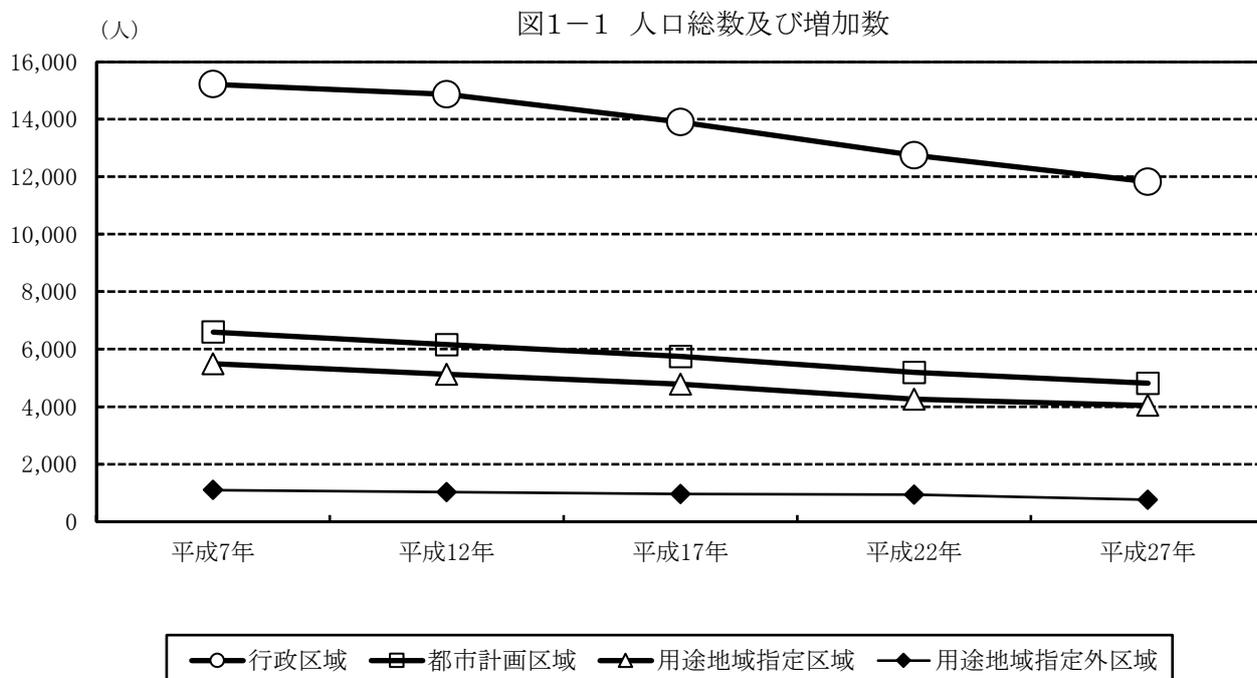
平成27年における区域別の人口構成をみると、都市計画区域内の人口は4,817人(全人口の40.7%)で、用途地域指定区域の人口は4,048人(全人口の34.2%)、用途地域指定外区域の人口は769人(全人口の6.5%)である。平成22年から平成27年の人口の推移を区域別に見ると、行政区域で-7.2%、都市計画区域で-7.4%、用途地域指定区域で-5.0%、用途地域指定外区域で-18.0%の人口増減率となっている。

表1-1 人口総数及び増加数

区 域	平成7年 人口	7年～12年 の 増 減		平成12年 人口	12年～17年 の 増 減		平成17年 人口	17年～22年 の 増 減		平成22年 人口	22年～27年 の 増 減		平成27年 人口
		人口	率		人口	率		人口	率		人口	率	
行政区域	人 15,221	人 △ 355	% △ 2.3	人 14,866	人 △ 966	% △ 6.5	人 13,900	人 △ 1,157	% △ 8.3	人 12,743	人 △ 917	% △ 7.2	人 11,826
都市計画区域	6,604	△ 447	△ 6.8	6,157	△ 411	△ 6.7	5,746	△ 546	△ 9.5	5,200	△ 383	△ 7.4	4,817
用途地域 指定区域	5,497	△ 373	△ 6.8	5,124	△ 336	△ 6.6	4,788	△ 526	△ 11.0	4,262	△ 214	△ 5.0	4,048
用途地域 指定外区域	1,107	△ 74	△ 6.7	1,033	△ 75	△ 7.3	958	△ 20	△ 2.1	938	△ 169	△ 18.0	769

(注)人口集中地区境界未設定

資料:国勢調査(各年10月1日)



C0101-2 年齢・性別人口

平成27年の年齢別人口は、年少人口(0～14歳)は1,205人(行政人口の10.2%)、生産年齢人口(15～64歳)は5,993人(行政人口の50.7%)、老年人口(65歳以上)は4,586人(行政人口の38.8%)となっており、老年人口比は県平均(29.8%)や木曾郡部平均(39.5%)と比べて高い割合となっている。

年少人口及び生産年齢人口が減少傾向にあり、年少人口は20年間で1,019人、生産年齢人口は3,469人減少している。それに対し老年人口は伸びており、20年間で1,051人増加している。

年齢構成指数では、平成7年から平成27年までの20年間で年少人口指数は3.4%の減少、老年人口指数は39.1%の増加となっている。老年化指数については平成7年の158.9%に対し、平成27年には221.7%増加の380.6%と高い値を示している。

表1-2 年齢・性別人口(行政区)

(単位:人)

階層	平成7年			平成12年			平成17年			平成22年			平成27年		
	総計	男	女												
0～4	714	361	353	607	302	305	504	270	234	411	225	186	352	164	188
5～9	690	356	334	675	339	336	558	279	279	476	247	229	393	209	184
10～14	820	429	391	682	349	333	638	326	312	526	267	259	460	239	221
年少人口	2,224	1,146	1,078	1,964	990	974	1,700	875	825	1,413	739	674	1,205	612	593
15～19	804	431	373	727	378	349	562	301	261	522	274	248	454	238	216
20～24	645	321	324	513	259	254	425	215	210	320	179	141	338	173	165
25～29	753	375	378	791	411	380	581	284	297	444	223	221	418	215	203
30～34	825	430	395	794	415	379	727	397	330	569	300	269	438	216	222
35～39	819	442	377	843	444	399	733	388	345	664	344	320	537	295	242
40～44	1,000	550	450	806	437	369	800	424	376	702	362	340	663	341	322
45～49	1,174	617	557	1,008	555	453	810	450	360	775	421	354	678	353	325
50～54	1,072	533	539	1,198	645	553	984	534	450	784	437	347	754	416	338
55～59	1,174	576	598	1,028	493	535	1,186	618	568	964	514	450	768	412	356
60～64	1,196	608	588	1,160	557	603	1,017	464	553	1,118	573	545	945	493	452
生産年齢人口	9,462	4,883	4,579	8,868	4,594	4,274	7,825	4,075	3,750	6,862	3,627	3,235	5,993	3,152	2,841
65～69	1,188	535	653	1,145	571	574	1,089	509	580	967	437	530	1,102	563	539
70～74	908	343	565	1,088	472	616	1,074	523	551	1,013	458	555	914	399	515
75～79	711	267	444	805	291	514	964	397	567	950	442	508	897	386	511
80～84	431	152	279	561	183	378	655	217	438	805	300	505	802	351	451
85～90	214	68	146	291	93	198	406	103	303	444	116	328	545	173	372
90～	83	21	62	144	32	112	187	38	149	279	57	222	326	70	256
老年人口	3,535	1,386	2,149	4,034	1,642	2,392	4,375	1,787	2,588	4,458	1,810	2,648	4,586	1,942	2,644
年齢不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	7	3	42	29	13
総計	15,221	7,415	7,806	14,866	7,226	7,640	13,900	6,737	7,163	12,743	6,183	6,560	11,826	5,735	6,091

資料：国勢調査(各年10月1日)

図1-2 年齢・性別人口(行政区)

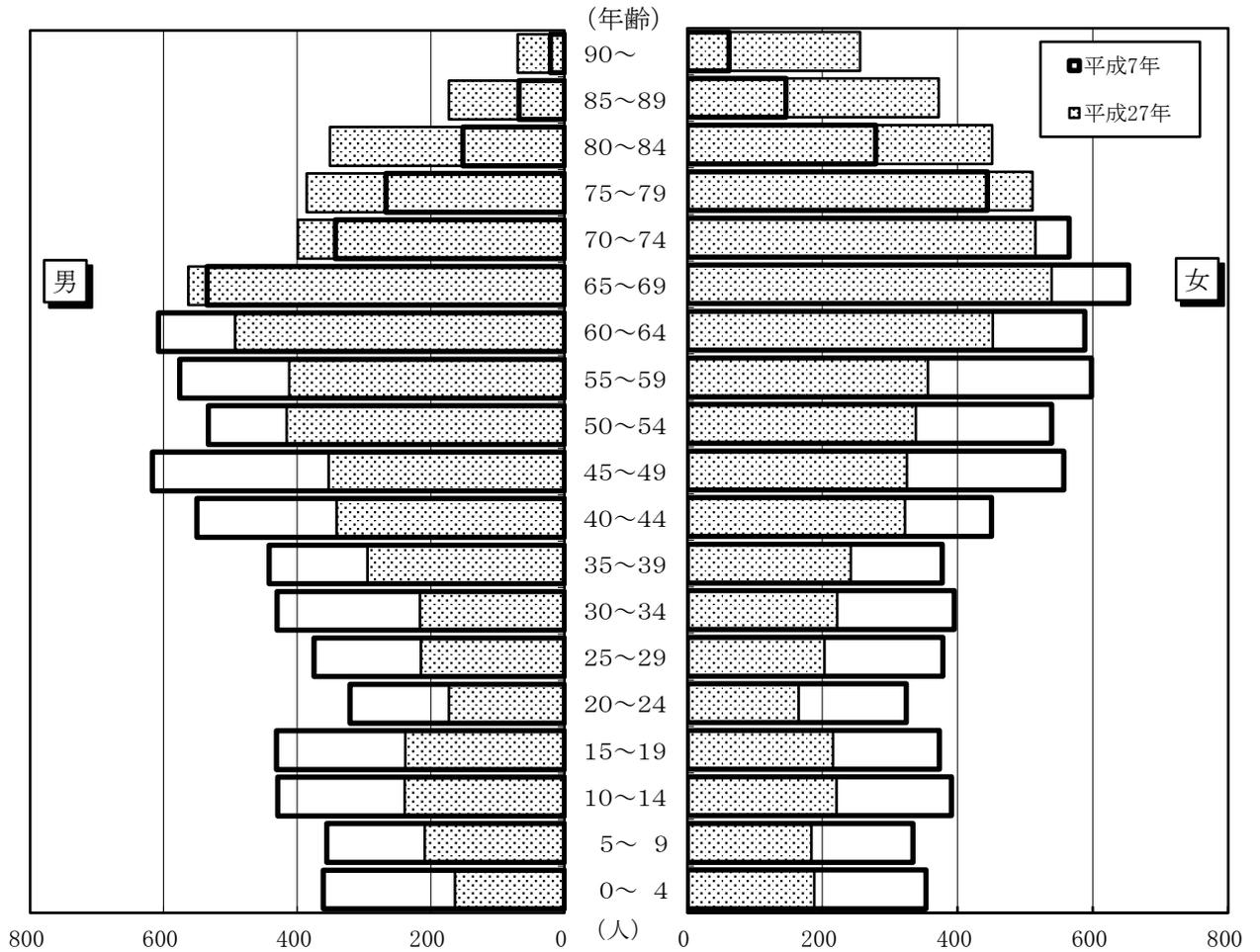


表1-3 年齢構成指数の推移 (単位:%)

	年少人口 指数	老年人口 指数	従属人口 指数	老年化 指数
平成7年	23.5	37.4	60.9	158.9
平成12年	22.1	45.5	67.6	205.4
平成17年	21.7	55.9	77.6	257.4
平成22年	20.6	65.0	85.6	315.5
平成27年	20.1	76.5	96.6	380.6

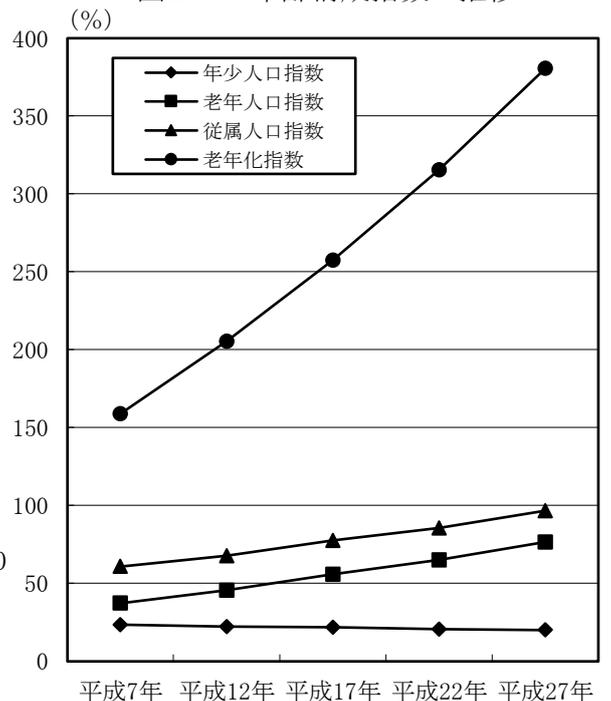
年少人口指数=年少人口/生産年齢人口×100

老年人口指数=老年人口/生産年齢人口×100

従属人口指数=(年少人口+老年人口)/生産年齢人口×100

老年化指数=老年人口/年少人口×100

図1-3 年齢構成指数の推移



C0103 将来人口(年齢・性別将来人口)

平成22年と平成27年の5歳階級別年齢人口を基に行った、日本の市区町村別将来推計人口〔国立社会保障・人口問題研究所(平成30年推計)〕による10年後、20年後の推計結果は、令和7年9,842人、令和17年で8,074人と推計され、各年とも人口が減少するという結果になった。

平成27年から令和17年までの増減率は、令和7年で-16.8%(1,984人減少)、令和17年で-31.7%(3,752人減少)である。

図1-4 年齢別人口の将来推計

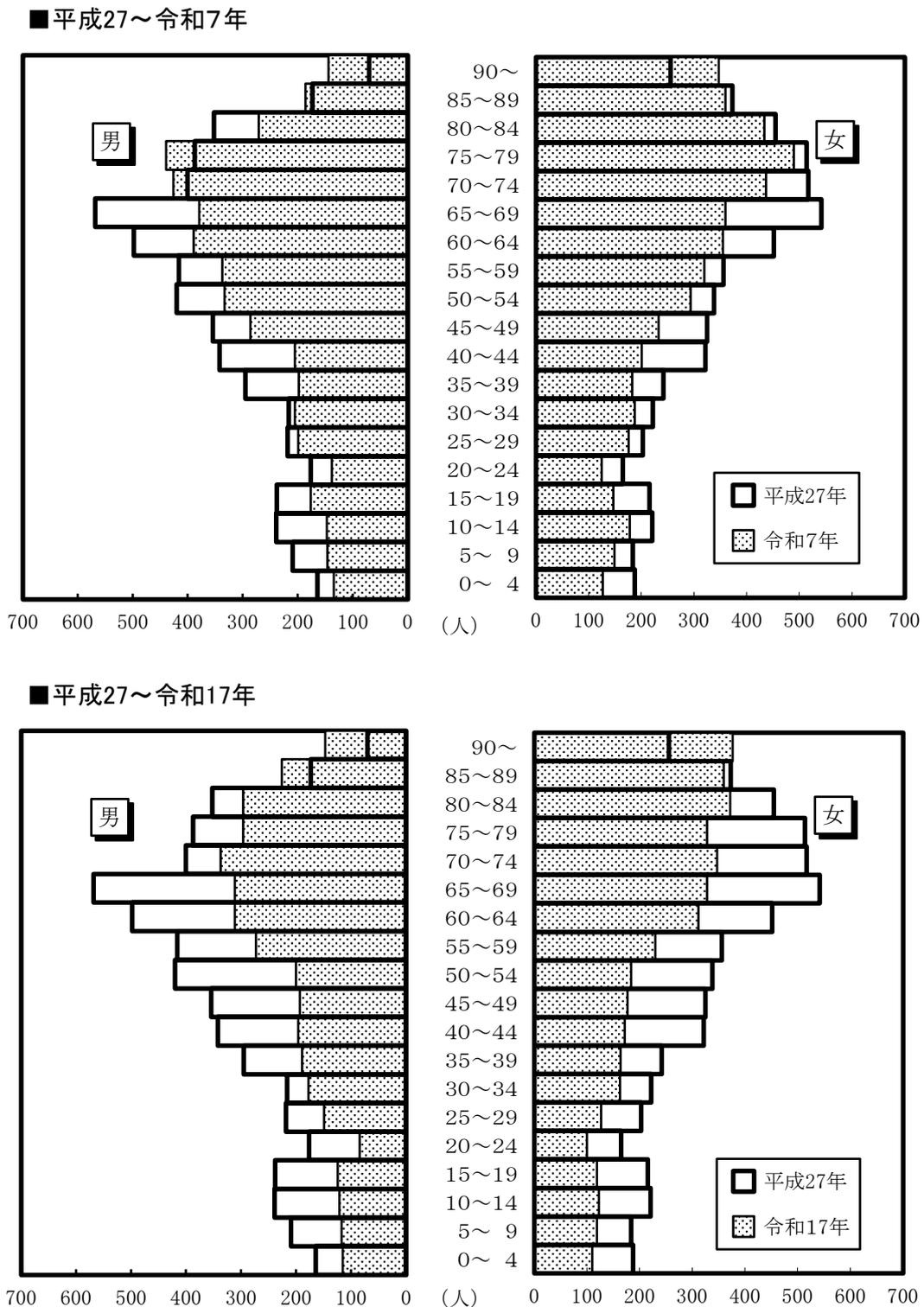


表1-4 年齢・性別将来人口

単位：人

年 階層	推 計 値																							
	実 績			令和27年			令和2年			令和7年			令和12年			令和17年			令和22年			令和27年		
	総 数	男	女	総 数	男	女																		
0～4	352	164	188	307	157	150	261	134	127	244	125	119	225	115	110	203	104	99	181	93	88			
5～9	393	209	184	336	152	184	295	146	149	252	125	127	236	117	119	218	108	110	198	98	100			
10～14	460	239	221	380	202	178	325	147	178	286	142	144	244	121	123	228	113	115	212	105	107			
15～19	454	238	216	392	209	183	323	176	147	275	128	147	243	124	119	208	106	102	194	99	95			
20～24	341	176	165	303	156	147	263	138	125	216	116	100	184	84	100	162	81	81	138	69	69			
25～29	421	218	203	402	217	185	375	199	176	335	177	158	276	149	127	235	108	127	208	105	103			
30～34	438	216	222	410	207	203	393	205	188	377	196	181	340	177	163	281	150	131	240	109	131			
35～39	537	295	242	406	206	200	381	198	183	367	197	170	353	189	164	321	172	149	265	145	120			
40～44	664	342	322	537	293	244	406	205	201	382	197	185	368	196	172	356	189	167	323	172	151			
45～49	679	354	325	642	334	308	519	286	233	392	200	192	370	193	177	358	193	165	346	186	160			
50～54	758	420	338	663	353	310	627	333	294	509	286	223	384	200	184	362	193	169	351	193	158			
55～59	772	416	356	747	400	347	657	337	320	622	319	303	503	273	230	381	191	190	359	184	175			
60～64	950	498	452	766	403	363	744	389	355	658	329	329	623	311	312	503	267	236	382	187	195			
65～69	1,110	568	542	915	467	448	739	379	360	721	367	354	639	311	328	606	294	312	489	253	236			
70～74	917	400	517	1,046	518	528	863	426	437	699	347	352	684	337	347	608	286	322	577	271	306			
75～79	901	387	514	813	336	477	929	439	490	768	362	406	624	296	328	612	288	324	547	246	301			
80～84	807	352	455	771	308	463	705	271	434	807	358	449	668	296	372	547	244	303	540	240	300			
85～89	546	173	373	556	208	348	546	186	360	508	166	342	586	226	360	486	187	299	403	157	246			
90～	326	70	256	431	109	322	491	144	347	520	151	369	524	147	377	585	179	406	547	169	378			
不詳	0	0	0																					
総計	11,826	5,735	6,091	10,823	5,235	5,588	9,842	4,738	5,104	8,938	4,288	4,650	8,074	3,862	4,212	7,260	3,453	3,807	6,500	3,081	3,419			

資料：日本の市区町村別将来推計人口〔国立社会保障・人口問題研究所（平成30年推計）〕

C0104 人口増減

本町の平成7年から令和元年までの人口増減の推移をみると、各年で死亡者数が出生数を上回っているため自然増は減少している。出生数は平成7年の122人と比較すると、令和元年は44人であり63.9%減少し、死亡者数は平成7年の149人と比較すると、令和元年は195人と増加傾向にある。

社会増は、平成11年、平成14年に転入者数が転出者数を上回り増加を示したが、それ以外の年では転出者が転入者を上回っており、社会増は減少となっている。

平成22年以降、社会増の減少より自然増の減少が上回っていることから、近年の人口停滞の要因として自然増の減少による影響が大きい。

表1-5 人口増減の内訳 (単位:人)

行政区	年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
		出生数	122	127	121	123	101	81	85	92	71	85	81	85
死亡者数	149	170	183	173	166	154	181	206	152	187	154	181	206	
自然増減	-27	-43	-62	-50	-65	-73	-96	-114	-81	-102	-73	-96	-114	
転入者数	842	794	860	827	855	784	857	839	851	731	690	506	558	
転出者数	977	865	912	833	810	894	931	804	990	850	891	650	622	
社会増減	-135	-71	-52	-6	45	-110	-74	35	-139	-119	-201	-144	-64	
その他増減	25	2	3	6	7	-10	-3	5	2	1	0	-1	-5	
人口増減計	-137	-112	-111	-50	-13	-193	-173	-74	-218	-220	-274	-241	-183	
累 計	-926	-1,038	-1,149	-1,199	-1,212	-1,405	-1,578	-1,652	-1,870	-2,090	-2,364	-2,605	-2,788	
都市計画区域	出生数	53	55	53	53	44	34	35	38	29	35	33	35	38
	死亡者数	65	74	79	75	72	64	75	85	63	77	64	75	85
	自然増減	-12	-19	-26	-22	-28	-30	-40	-47	-34	-42	-31	-40	-47
	転入者数	365	345	373	359	371	325	355	347	352	303	285	209	230
	転出者数	424	375	396	362	352	370	385	333	410	352	368	268	257
	社会増減	-59	-30	-23	-3	19	-45	-30	14	-58	-49	-83	-59	-27
	人口増減計	-71	-49	-49	-25	-9	-75	-70	-33	-92	-91	-114	-99	-74
	累 計	-445	-494	-543	-568	-577	-652	-722	-755	-847	-938	-1,052	-1,151	-1,225
用途地域指定区域	出生数	44	46	44	44	36	28	29	32	24	29	28	29	32
	死亡者数	54	61	66	62	60	53	62	71	52	65	53	62	71
	自然増減	-10	-15	-22	-18	-24	-25	-33	-39	-28	-36	-25	-33	-39
	転入者数	304	287	310	299	309	270	296	289	294	252	237	174	192
	転出者数	353	312	329	301	292	308	321	277	342	293	307	224	214
	社会増減	-49	-25	-19	-2	17	-38	-25	12	-48	-41	-70	-50	-22
	人口増減計	-59	-40	-41	-20	-7	-63	-58	-27	-76	-77	-95	-83	-61
	累 計	-371	-411	-452	-472	-479	-542	-600	-627	-703	-780	-875	-958	-1,019
行政区	年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	
	出生数	71	85	72	79	68	80	75	63	56	49	51	44	
	死亡者数	152	187	186	233	198	204	193	214	247	212	197	195	
	自然増減	-81	-102	-114	-154	-130	-124	-118	-151	-191	-163	-146	-151	
	転入者数	484	453	470	432	426	381	369	382	374	335	345	317	
	転出者数	638	610	493	469	518	466	443	420	429	440	442	408	
	社会増減	-154	-157	-23	-37	-92	-85	-74	-38	-55	-105	-97	-91	
	その他増減	4	-2	7	6	1	4	1	3	-3	1	-3	0	
	人口増減計	-231	-261	-130	-185	-221	-205	-191	-186	-249	-267	-246	-242	
	累 計	-3,019	-3,280	-3,410	-3,595	-3,816	-4,021	-4,212	-4,398	-4,647	-4,914	-5,160	-5,402	
都市計画区域	出生数	29	35	29	32	28	33	31	26	23	20	21	18	
	死亡者数	63	77	76	95	81	83	79	87	101	86	80	79	
	自然増減	-34	-42	-47	-63	-53	-50	-48	-61	-78	-66	-59	-61	
	転入者数	200	187	192	176	174	155	151	155	152	136	140	129	
	転出者数	263	252	201	191	211	190	181	171	175	179	180	166	
	社会増減	-63	-65	-9	-15	-37	-35	-30	-16	-23	-43	-40	-37	
	人口増減計	-97	-107	-56	-78	-90	-85	-78	-77	-101	-109	-99	-98	
	累 計	-1,322	-1,429	-1,485	-1,563	-1,653	-1,738	-1,816	-1,893	-1,994	-2,103	-2,202	-2,300	
用途地域指定区域	出生数	24	29	24	26	23	27	25	22	19	17	17	15	
	死亡者数	52	64	62	78	66	68	64	73	84	73	67	67	
	自然増減	-28	-35	-38	-52	-43	-41	-39	-51	-65	-56	-50	-52	
	転入者数	166	156	157	144	142	127	123	131	128	115	118	108	
	転出者数	219	210	165	157	173	156	148	144	147	150	151	140	
	社会増減	-53	-54	-8	-13	-31	-29	-25	-13	-19	-35	-33	-32	
	人口増減計	-81	-89	-46	-65	-74	-70	-64	-64	-84	-91	-83	-84	
	累 計	-1,100	-1,189	-1,235	-1,300	-1,374	-1,444	-1,508	-1,572	-1,656	-1,747	-1,830	-1,914	

注:都市計画区域、用途地域指定区域の数値は、行政区に占める人口の割合により按分した数値。

:平成7年の累計値は平成2年からの累計。

資料:毎月人口異動調査(各年10月1日)

図1-5 人口増減の累計

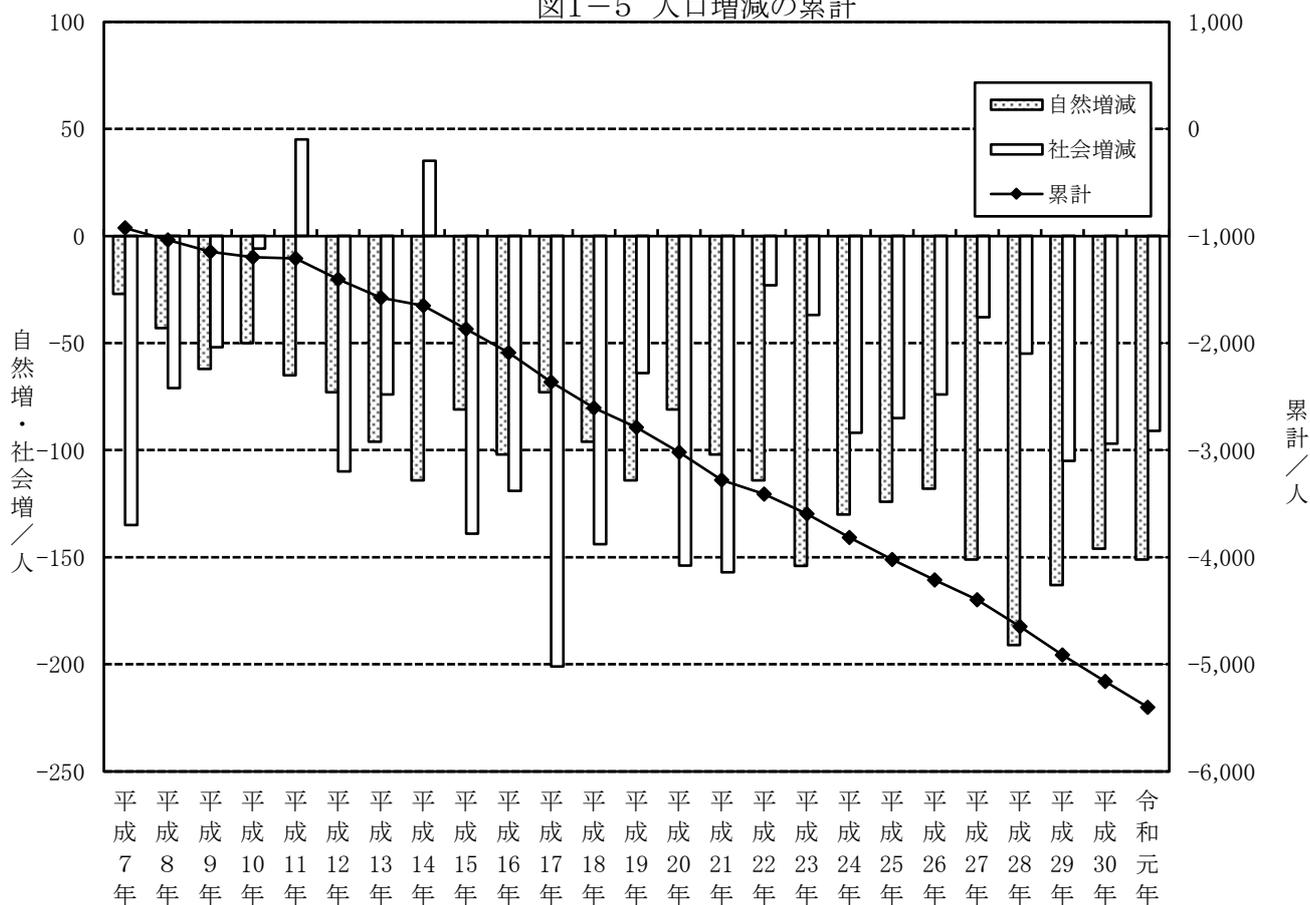
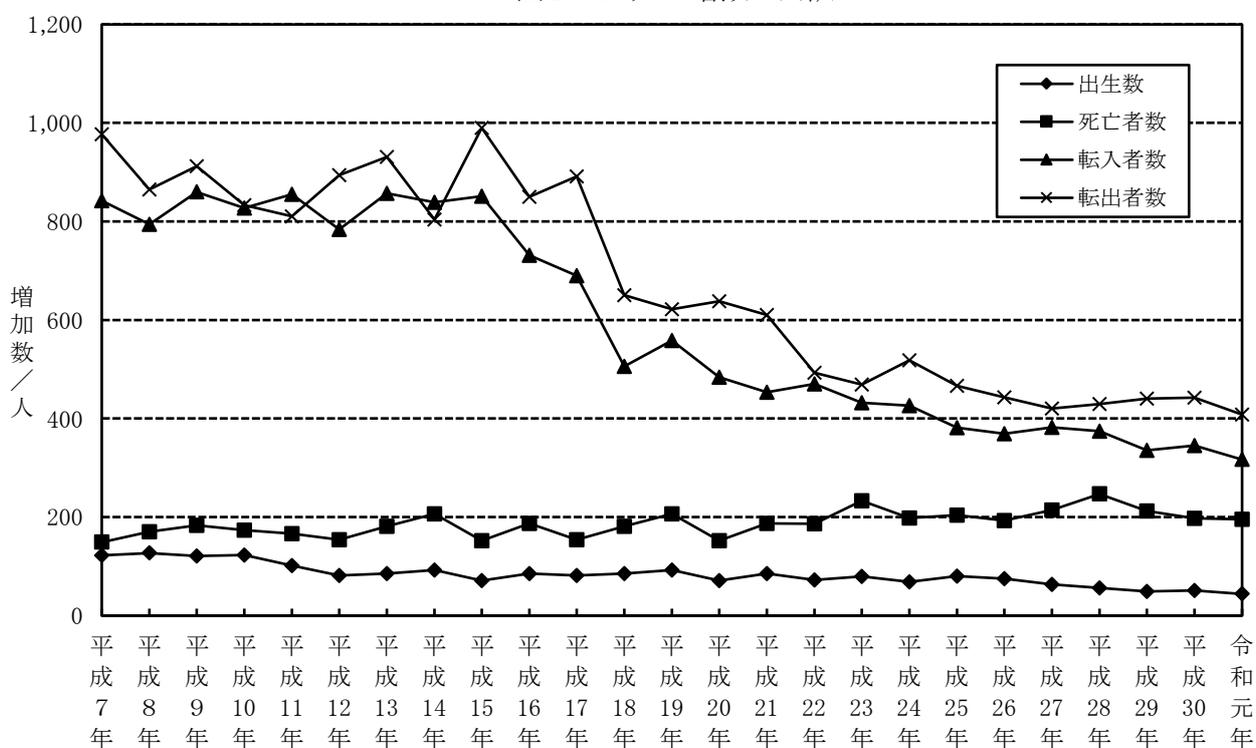


図1-6 人口増減の内訳



C0105 通勤・通学移動(流出・流入別人口)

平成27年の就業者数の流出・流入状況は、流出率18.2%、流入率23.5%で、流入数が流出数を上回っている。流出先は上松町405人、大桑村120人、塩尻市102人の順となっている。流入先においては、上松町390人、木祖村284人、塩尻市208人の順となっている。

平成27年の通学者の流出・流入状況は、流出率24.3%、流入率46.5%で、流入数が流出率を上回っている。流出先は松本市36人、南木曾町19人、塩尻市14人の順となっている。流入先においては、大桑村77人、上松町72人、木祖村43人の順となっている。

表1-6 通勤・通学者流出入状況表(就業者)

年	流出			流入			従/常 就業者比
	常住地による就業者数 人	就業者数 人	流出率 %	従業地による就業者数 人	就業者数 人	流入率 %	
平成7年	4,653	1,001	21.5	5,434	1,782	32.8	116.8
平成12年	4,381	935	21.3	5,171	1,725	33.4	118.0
平成17年	4,006	1,021	25.5	4,633	1,648	35.6	115.7
平成22年	6,353	1,159	18.2	6,828	1,610	23.6	107.5
平成27年	6,107	1,114	18.2	6,531	1,536	23.5	106.9

資料：国勢調査(各年10月1日)

表1-7 流出先・流入先別人口の推移(就業者)

年	流出先														
	市町村名	流出者数 人	流出率 %												
平成7年	日義村	263	5.7	上松町	233	5.0	木祖村	105	2.3	松本市	85	1.8	三岳村	58	1.2
平成12年	日義村	230	5.2	上松町	207	4.7	木祖村	93	2.1	三岳村	88	2.0	松本市	82	1.9
平成17年	上松町	271	6.8	日義村	221	5.5	三岳村	85	2.1	大桑村	68	1.7	塩尻市	66	1.6
平成22年	上松町	437	6.9	塩尻市	115	1.8	木祖村	110	1.7	大桑村	101	1.6	松本市	100	1.6
平成27年	上松町	405	6.6	大桑村	120	2.0	塩尻市	102	1.7	木祖村	97	1.6	松本市	90	1.5

年	流入先														
	市町村名	流入者数 人	流入率 %												
平成7年	上松町	391	7.2	日義村	326	6.0	三岳村	193	3.6	木祖村	190	3.5	大桑村	135	2.5
平成12年	上松町	356	6.9	日義村	327	6.3	木祖村	174	3.4	三岳村	168	3.2	塩尻市	110	2.1
平成17年	上松町	332	7.2	日義村	309	6.7	木祖村	193	4.2	塩尻市	184	4.0	三岳村	138	3.0
平成22年	上松町	408	6.0	木祖村	313	4.6	塩尻市	238	3.5	大桑村	141	2.1	松本市	107	1.6
平成27年	上松町	390	6.0	木祖村	284	4.3	塩尻市	208	3.2	大桑村	112	1.7	松本市	94	1.4

資料：国勢調査(各年10月1日)

表1-8 通勤・通学者流出入状況表(通学者)

年	流出			流入			従/常 通学者比
	常住地による通学者数 人	通学者数 人	流出率 %	従業地による通学者数 人	通学者数 人	流入率 %	
平成7年	491	53	10.8	1,125	687	61.1	229.1
平成12年	387	51	13.2	1,004	668	66.5	259.4
平成17年	290	36	12.4	811	557	68.7	279.7
平成22年	489	91	18.6	797	397	49.8	163.0
平成27年	445	108	24.3	632	294	46.5	142.0

資料：国勢調査(各年10月1日)

表1-9 流出先・流入先別人口の推移(通学者)

年	流出先														
	市町村名	流出者数 人	流出率 %	市町村名	流出者数 人	流出率 %	市町村名	流出者数 人	流出率 %	市町村名	流出者数 人	流出率 %	市町村名	流出者数 人	流出率 %
平成7年	松本市	32	6.5	南木曾町	11	2.2	塩尻市	5	1.0	上松町	2	0.4	岡谷市	1	0.2
平成12年	松本市	33	8.5	南木曾町	8	2.1	塩尻市	6	1.6	上松町	1	0.3	-	0	0.0
平成17年	松本市	20	6.9	南木曾町	7	2.4	上松町	4	1.4	塩尻市	2	0.7	-	0	0.0
平成22年	松本市	47	9.6	南木曾町	17	3.5	塩尻市	9	1.8	上松町	3	0.6	茅野市	2	0.4
平成27年	松本市	36	8.1	南木曾町	19	4.3	塩尻市	14	3.1	上田市 伊那市	3	0.7	駒ヶ根市	2	0.4

年	流入先														
	市町村名	流入者数 人	流入率 %												
平成7年	上松町	160	14.2	木祖村	96	8.5	大桑村	89	7.9	日義村	68	6.0	三岳村	52	4.6
平成12年	上松町	147	14.6	木祖村	86	8.6	日義村	82	8.2	大桑村	63	6.3	三岳村	59	5.9
平成17年	上松町	140	17.3	木祖村	73	9.0	日義村	62	7.6	大桑村	52	6.4	三岳村	42	5.2
平成22年	上松町	120	15.1	大桑村	71	8.9	南木曾町	58	7.3	木祖村	56	7.0	塩尻市	39	4.9
平成27年	大桑村	77	12.2	上松町	72	11.4	木祖村	43	6.8	南木曾町	35	5.5	塩尻市	27	4.3

資料：国勢調査(各年10月1日)

注1 常住地による就業者・通学者数とは、当該都市に常住する(夜間人口ベース)就業者・通学者をいう。

従業地による就業者・通学者数とは、当該都市に従業する(昼間人口ベース)就業者・通学者をいう。

注2 流出率=流出就業者数/常住地による就業者・通学者数×100

流入率=流入就業者数/従業地による就業者・通学者数×100

注3 (従/常)就業者比率=従業地による就業者・通学者数/常住地による就業者・通学者数×100

※平成17年までの市町村名は、合併以前の名称(木曾福島町・日義村・開田村・三岳村→木曾町、檜川村→塩尻市)

※平成17年までは旧木曾福島町の数値

図1-7 流出・流入状況図(就業者数) 平成27年

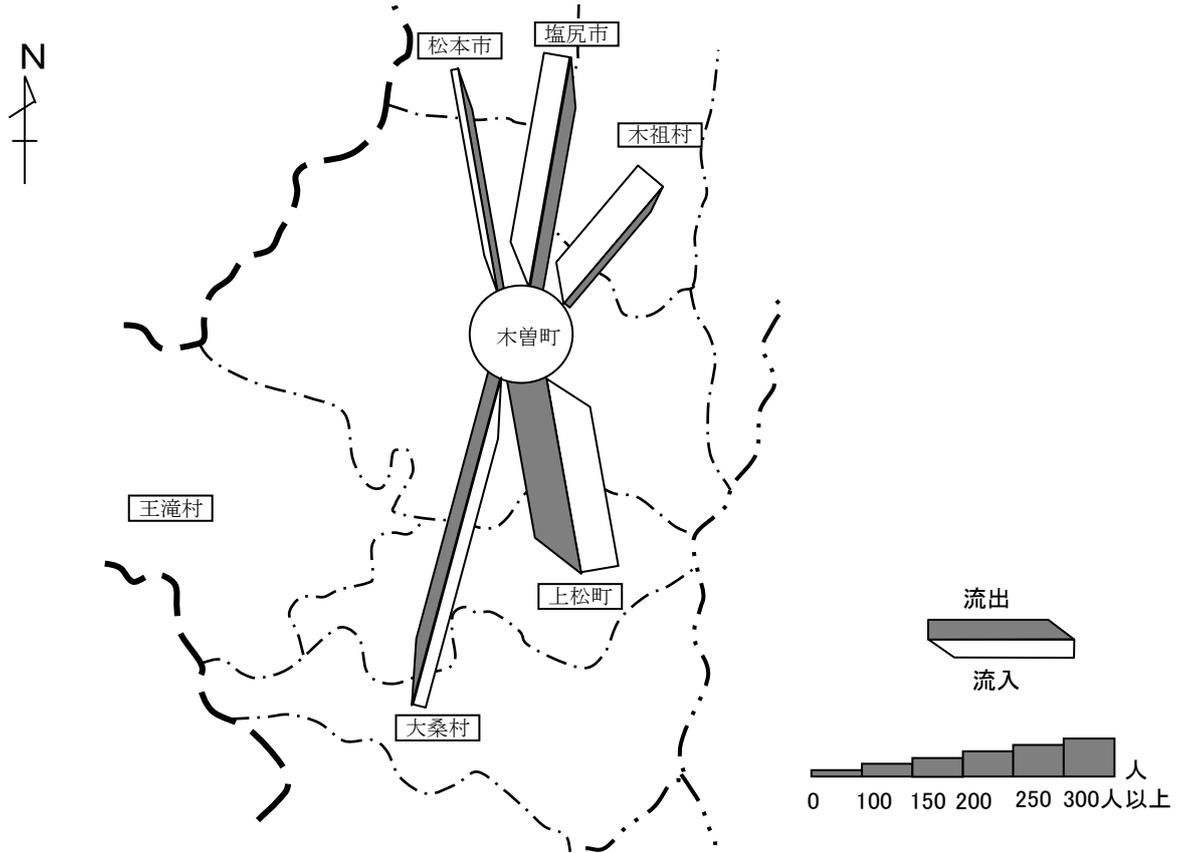


図1-8 流出・流入状況図(通学者数) 平成27年

